

## 第2回会議

- 1 開催日：平成30年8月1日（水）
- 2 場所：コミュニティセンター小湊
- 3 内容：100人会議の開催経過、小湊地域の活性化案（活用の方向性）について事務局から説明をした後、質疑応答などを実施
- 4 配付資料

	資料名	備考
1	小湊小・中学校の跡地活用を中心とした地域の活性化を考える100人会議（略称：100人会議）について ※第1～第3回100人会議の概要	第2回～第4回100人会議 「資料1」の抜粋版
2	鴨川市100人会議 記入シートまとめ	第4回100人会議 「資料2」
3	小湊地域の活性化案（活用の方向性）	第4回100人会議 「資料3」

※軽微な修正を除き、原則として100人会議で配布したものと同一資料です。

## 5 主な発言等

### コンセプト

- 施設の独自性や特色が重要。小湊に集まる仕組みをどう仕掛けるかを追求する必要がある。元々学校なので、「学び」のコンセプトは維持すべきである。
- 既存のものを寄せ集めても全体として弱い。特色のある尖った施設、時代が経っても色あせないような施設とするべきだと考える。  
例えば、次世代に貢献したいという考えを持っている有名な方（元プロ野球選手など）に講師になってもらい、ほかにはない学びの場をつくったらどうか。
- 小湊は勝浦方面から来たときには安房の入口。そのコンセプトをいかせると面白いのでは。
- 学校は地域の元気の拠点である。例え自分の子供が通っていなくても、地域の皆さんはそこから元気をもたらしていたはず。廃校になってもそのコンセプトは守りたい。

### 施設に対する要望など

- 近所の方が気軽に使えること、また、現在使っている人が継続して使えることについて、配慮をお願いしたい。  
⇒継続的に利用できるような形は考えていきたい。
- 健康増進、体力作りといった視点を入れてもらいたい。
- 地域のアイドルのようなおばあちゃんのいるカフェがあったら面白い。
- 国道から進入路を設けることは難しいのか。  
⇒該当する部分が民地であり、相手のあることなので、一方的な計画はできない。また、国道と小学校敷地は高低差があり、技術的な部分もあるので、現状のままとした。  
⇒歩行者や自転車だけでも入れると違うので、引き続き検討願いたい。
- グラウンドを駐車場にするのはもったいないので、駅前駐車場の活用を考えるべき。

## その他

- 幼保の存続如何で内容が変わるが、存廃の話は相当に進んでいるのか。  
⇒当初は小学校の統合のみを検討しており、幼保については考えていなかった。幼保の将来については、保護者の方のご意見も聞きながら進めていきたい。
- この先 50 年、60 年と続いていくプロジェクトなので、継続性が大切。地元の人たちが計画の策定段階から関わり、責任を持つような仕組みとする必要があるのではないか。
- 誕生寺・鯛の浦周辺の駐車場問題や展望台、道路問題なども含めて、小湊地域の活性化を考えていただきたい。